

大波

かけがわ
おおまつり

清元「神田祭」

三年に二度の大乱舞

清元一神田祭

小唄一桃太郎

長唄「吉原雀」

三年に二度の大乱舞。四十二町が織りなす伝統絵巻

瓦町

獅子舞かんからまち
静岡県指定無形民俗文化財

西町

奴道中

江戸時代の東海道を餵ばせる

仁藤田

大獅子

日本一の大きさを誇る大駒子の舞

令和6(2024)年

令和6(2024)年 **10月11日** 金 18時から21時

18時から21時

12^土日 9時から21時

9時から21時

13日 9時から21時

9時から21時

14日 祝日 9時から21時

祝
月
日

9時から21時

お問い合わせ

掛川観光協会ビジターセンター「旅のスイッチ」 ☎0537(24)8711

☎0537 (24) 8711

かけがわ
おおまつり

掛川大祭 ご案内

「掛川祭」は、掛川市中心部に位置する7つの神社の氏子41町が参加する合同祭礼です。本年は、3年に一度の「大祭」の年にあたり、三大余興と呼ばれる「獅子舞かんからまち」「大獅子」「奴道中」や、歌舞伎舞踊を伴う「衣裳祭り」を中心に、多種多彩な出し物が展開されます。※今回の「大祭」は、コロナ感染拡大の影響で6年ぶりの開催となります。



12・13・14日
3日間(昼間)
のみ

●獅子舞かんからまち(瓦町)
掛川城や藩と密接な関係にあった獅子で、歴史上の初出は宝暦3(1753)年です。形態は、関東以北に多い三頭(三四)獅子で、地理的例外として掛川に存在する理由は、解明されておらず、起源も含めて謎のままです。舞の途中で切れ味ある側転が入り、帯同する「花幌」の神々しい美しさも、見る人の目を奪います。
(静岡県指定無形民俗文化財第1号)



13・14日
両日(昼間)
のみ

●大獅子(仁藤町)
総勢約200人で操る我が国最大級の獅子で、舞う姿は圧巻です。幕末の頃、旅に出た地元仁藤町にある天然寺の住職が、伊勢白子(三重県)で見た獅子を元に考案したとされます。「大獅子」に従う屋台は、旧掛川藩お抱え大工の系統の棟梁が明治時代に製作したもので、名門立川流の彫刻も施された逸品です。屋台から聞こえるお囃子も格調高いものです。



12・13・14日
3日間(昼間)
のみ

●奴道中(西町)
明治時代に、江戸時代の東海道や掛川を偲び考案されました。折しも、日清・日露の戦勝祝いが重なり、当時の薩長政権を意識し、薩摩藩の「大名行列」になったとされますが、実際には、道具箱などに掛川藩の紋章も見られます。見どころは、奴による槍や大鳥毛の受け渡しです。また、本来の編成は「大名行列」で、今回は「奴道中」のみでの披露です。



11~14日

●衣裳祭りと屋台(江戸天下祭の名残)
戦前の掛川の祭りは「衣裳祭り」と呼ばれ、歌舞伎舞踊を源泉とする品の良さと華やかさは、今なお掛川の祭りの様式美として継承されています。屋台は、全国的に珍しい二輪形式で、屋台行事全体に江戸天下祭の複数の痕跡が見られ、曳き回しの途中では、長唄や端唄などの演舞が披露されます。また、彫刻などの屋台装飾には、中京圏の曳山文化の影響が確認できます。

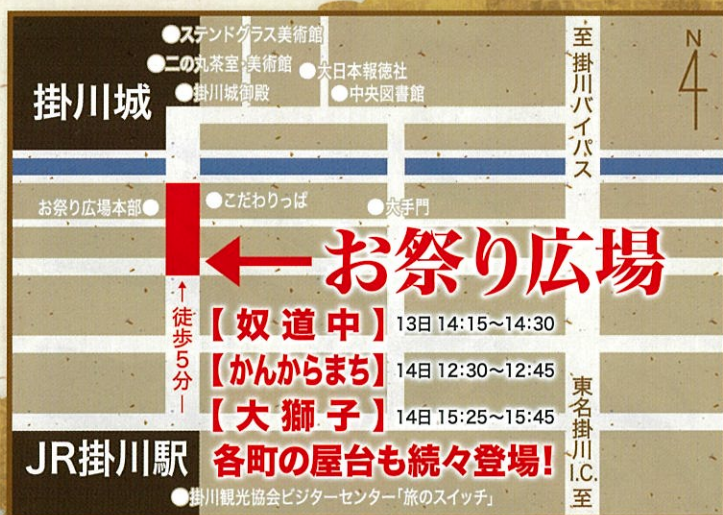
お祭り広場

開催日時:10月13・14日ともに12:30~16:30

開催場所:掛川城下通り

「掛川大祭」では、三大余興や衣裳祭りを初め、参加全41町による様々な出し物や演舞が、街並みのあちこちで披露されます。お祭り広場では、「掛川大祭」を構成する「獅子舞」「曳山(屋台)」「花柳(衣裳/歌舞伎舞踊/手踊り)」の3つの文化に関する具体的な解説とともに、各町の屋台や出し物をご覧頂くことができます。

※祭りの日程や予定は、雨天などの都合により、予定が変更になる場合があります。



【交通のご案内】◆掛川市役所臨時駐車場・無料シャトルバス 13日(日)・14日(月)の9:00~17:00 ◆名古屋から掛川まで新幹線で約60分。高速道路で約90分。◆浜松から掛川まで新幹線で約12分。高速道路で約16分。◆静岡から掛川まで新幹線で約15分。高速道路で約35分。◆新東名森掛川ICから車で約25分。◆富士山静岡空港から掛川まで車で約20分。※駐車場台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



お問い合わせは 掛川観光協会ビジターセンター「旅のスイッチ」☎0537(24)8711
<https://www.kakegawa-kankou.com/> JR掛川駅 南口 コンコース内(営業時間/9:00~17:00)